

令和6年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	特定非営利活動法人 Sisterhood		
事業名	困難を抱える若年女性への就活用衣類の貸出事業		
助成事業区分	協働助成事業（一般型）【県政課題：困難な問題を抱える女性への相談・支援の推進】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	513,505 円
		うち助成金額	500,000 円
事業実施期間	令和6年7月1 日～令和7年2月28日まで		

事業目的・実施内容	（事業目的） 当団体は令和5年度より、困窮する女子学生の食料支援と居場所づくりを行ってきた。困難を抱える学生と接する中で、その『困難』には経済的な困窮だけにとどまらず、様々な要因が潜んでいることに気付いた。コロナ禍で助け合える友人関係の構築が難しかったこと、困窮の原因が保護者の病気でありずっとヤングケアラーとしての役割を担ってきたこと、地方特有の問題として『ブラザーペナルティ（男兄弟がいる女性は、姉妹をもつ女性よりも学歴や収入に格差が生まれる傾向がある、という学説）』が存在しているということ。 何よりの問題は、それらが複合的に存在しているのに、自身もふくめ、近くにいる誰もがそのことに気付いていないことである。格差社会のなかで、就職活動を何とか成功させるのが困窮状態を抜け出すきっかけなのにもかかわらず、様々な困難を背負っている若年女性ほど、就職活動用の衣類も満足に準備できないのが現状である。 そこで、この事業では就職活動のためのスーツや衣類、小物類を貸出し（既存の企業への就職を選ばない若年女性であっても、TPOに合わせたスーツなどは必要になるため、なるべく幅の広いタイプの衣類を揃える）、円滑に社会人へのステップを踏み出せるように支援する。また、就職活動中、社会人への移行期は精神的にも多くも負担を強いられるため、メンタルケアも含めて若年女性の生活全般に寄り添っていく事業とする。
	（実施内容） 就職活動用の衣類、スーツ、小物（靴やカバン一式）を新品で5着揃え、社会人への移行期間中の若年女性に無料で貸出をした。できるだけ、ジェンダーレスで多様なタイプ・サイズを揃え、ノンバイナリーやクエスチョニングといった性的マイノリティの人たちにも利用してもらいやすいようにした。 5着で足りない部分は、チラシを作成して広く市民の方々に寄付を募り、なるべく多くの種類を揃えて選べるようにした（選べる楽しさを生み出し、できるだけスティグマを産まない工夫をする）。 貸出の際はスタッフがサイズや色などをアドバイスし、適切な距離感でコミュニケーションを図った。何かあったら相談できる場所がここにあり、相談できる人がいるとの認識を持ってもらえるようにした。 また、貸出事業の認知を図るため、若年女性の目を引くようなデザインのチラシを作成し、山形県村山地域内の大学（2校）、短大（2校）、専門学校（1校）、私立・公立高校（21校）などに配布した。学校に行っていない女性たちにも届くように、地方メディア（就職情報誌『BeCAL』2025年1月発行）にも広告を掲載した。

特定非営利活動法人 Sisterhood

女性支援 NPO が就職活動中の女性を全力サポート

無料で女性用の リクルートスーツを貸し出します！

これまでもNPO法人Sisterhoodでは、さまざまな困難を抱える女子学生に「夜ごはん会」や食料品、生理用品の提供などを行っていましたが、その活動の中で「就活用のスーツを購入するのが大変」という学生の声を聞きました。この度、山形県内外の市民のみならず、企業様、山形県職員のみならずたくさんのスーツの提供をいただき、(就活用スーツの無料貸出)を開始することができました。みなさまの善意が詰まったスーツをぜひご活用ください。



代表理事 小笠原 千秋

過去にハラスメントを経験した際、女性同士で気軽に相談しあえる場が少ないことを痛感。「それならば自分たちで作るしかない」と、2022年に女性支援団体「Sisterhood」を立ち上げ、2024年に法人化しました。

就職活動中の女性をサポート！必要な時にリクルートスーツを無料で貸し出します。使い終わったら返却するだけ。気軽にご利用ください。

スーツ

バッグ

靴

このようなシーンでご利用いただけます

- ・就職説明会
- ・卒業式
- ・インターン
- ・入社式
- ・入社試験
- ・新人研修
- ・面接
- ・入学式 etc

ご利用いただける方
(対象者：18～35歳までの性自認男性以外の方)

- ・高校生
- ・就職活動中の方
- ・専門学校生
- ・再就職活動中の方
- ・大学生
- ・フリーランス、アルバイト等 他

お申込みからご返却までの流れ



やまがた社会貢献基金
Yamagata Social Contribution Fund
当事業は、「令和6年度やまがた社会貢献基金」の助成を受けて特定非営利活動法人Sisterhoodが実施しています。



Sisterhood
特定非営利活動法人 Sisterhood
シスターフッド 山形 緑 都 会

山形市緑町4-10-3 ファーストビル3階B

代表理事：小笠原 千秋

HPアドレス：https://sisterhood-yamagata.com/

お問い合わせ・ご寄付などはWEBサイトをご覧ください



webサイト Instagram



事業の成果	7月より事業を開始し、株式会社ニシムラ様より安価でスーツをご提供いただいた。8～9月にかけては、スーツを募集するチラシを公共施設、企業、山形県庁などに配布。 およそ1か月で、山形Panasonic株式会社様、山形県職員のみならず、山形県内のみならず、秋田、福島、石川、東京の個人のみならず、スーツ84着、カバン21個、靴13足をご寄付いただいた。 スーツのクリーニングや整理、タグ付けを行った後、10月より貸出を開始。Instagramでの発信やチラシを配布すると同時に、地域情報誌に広告を掲載した。その他、1月には私立高校の校長に掛け合って全校生徒と保護者に一斉メールを流してもらい、2月までのあいだに、大学生、高校生と保護者、シングルマザーの方、延べ12人の方に貸出した（大学生5名、高校生6名、シングルマザーの方1名）
今後の展望	就活用衣類の貸出によって、困難を抱える若年女性が居場所につながり、さまざまな話をしてくれるようになった。大学生の就活に対する不安や葛藤に対して、居場所の同年代のピアの関係性の中でケアの言葉をかけあうことができた。また、シングルマザーの方には利用できる福祉制度の情報をお渡しし、就職への後押しをすることができた。 スーツのクリーニング代と保管場所に対してかかる費用を、今後は企業様や市民の皆さんにご寄付いただきながら、引き続き山形に生きる若年女性が抱える様々な困難を把握し、改善していくための声を拾う場としていきたい。



団体概要

団体名 特定非営利活動法人Sisterhood

代表者 小笠原千秋

URL <https://sisterhood-yamagata.com/>

令和6年度山形県NPO活動促進補助事業

収支精算書

事業の名称	困難を抱える若年女性への就活用衣類の貸出事業
団体名	特定非営利活動法人 Sisterhood

1 収入の部

(単位:円)

区分	精算額	内容
県補助金	500,000	令和6年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入		
その他収入		
自己資金	13,505	
合計	513,505	

2 支出の部

(単位:円)

区分	精算額	内容
謝金		
旅費		
印刷製本費	70,000	チラシデザイン、印刷代
消耗品・材料購入費	188,012	スーツ代、ハンガーラック、鏡、ハンガー更衣室用カーテン
通信運搬費		
保険料		
使用料		
人件費	150,000	人件費
(委託費)	100,000	情報誌掲載料
(備品購入費)		
(修繕費)		
補助対象外経費	5,493	クリーニング代
合計	513,505	